

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

寒い冬に  
花を咲かせる

# 見頃を迎えました！！ アイスチューリップ

国営ひたち海浜公園のアイスチューリップが見頃を迎えました。特殊な方法で冷蔵保管したチューリップの球根は、外気温との温度差により寒い冬でも開花します。冬は気温が低いため、開花期間が長くなるのが特徴です。気温に大きく左右されるアイスチューリップですが、毎年試行錯誤を重ね、今年はクリスマスシーズンに見頃を迎えるように準備し、15品種1万5千本を西口エリアの「記念の森レストハウス」前に、松ぼっくりのツリーと一緒に装飾しました。

2013年12月13日撮影

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター  
企画係 広報担当 服部・平田・安蔵・田中  
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4  
TEL：029-265-9001（報道関係者の方は9004・9005）  
FAX：029-265-9339  
<http://www.hitachikaihin.go.jp>  
“ひたち海浜公園”で検索



<アイスチューリップ> 15品種 15,000本  
花期：12月上旬～1月上旬  
場所：記念の森レストハウス前

2013年12月20日撮影

小人や動物、森の中のカフェテラス  
絵本の中に入り込んだかのような  
不思議な世界をお楽しみください。

寒空の下、やわらかな日差しを浴びて咲く  
花たちが私たちを出迎えてくれます。  
春のチューリップの一面に咲く華やかさとは趣が異なり、  
アイスチューリップは植栽する間隔をぎゅっと密にし、  
まるでキュートな花束のよう。

それは・・・  
今が冬であることを忘れてしまいそうな  
カラフルなアイスチューリップ。

西口・翼のゲートから入り  
いつもの散歩道を歩いていると  
木々の合間に見えてくる目に鮮やかな色。

## 冬にイロドリを





干支の巨大地上絵（大観覧車から） 2013年12月19日撮影



1/13(月祝)まで展示

高さ65メートルの  
大観覧車から眺める



みんなでアート♪巨大地上絵 12/7(金)～13(金)

公園内で採れた松ぼっくりや、松の木などの自然素材で制作しました。特に、たてがみと尻尾には、秋にみはらしの丘を真っ赤に染めた『コキア』を使い、その素材感や色（茶色）を活かして、毛並みを表現しました。

デザインテーマは「翔<sup>か</sup>ける」。2020年の東京オリンピック開催が決定し、景気もより向上きに、そして東日本大震災の復興もより加速的に進んでいく年になることを願い、デザインしました。

2014年の干支  
「午<sup>うま</sup>」の巨大地上絵が登場。



寒咲きナノハナ



早咲きスイセン



スイセン



チューリップ



ネモフィラ

年が明けるとフラワーリレーが始まります